

安全

4-2 鋭利なものを扱う際の注意点は理解していますか？

日常的に、ものを切断する時は、包丁やはさみ、カッターなどを使う。また木工では、のこぎりやくぎなどを使う。これらは電動工具と比べると動力がないため、人による制御が簡単であるが、間違った使い方をすると人命にかかわるケガをすることがある。

またガラスも透明な固体として、窓ガラスやグラス、大学ではビーカーなどで使用されているが、ガラスは割れると刃物と同じ扱いである。そのためガラスは割れないように慎重に扱う必要がある。

ガラス器具を扱う際は、置く場所に気を付ける。テーブルの端などに置くと落ちる可能性があるが、テーブルの奥に置くことで、ガラス器具の落下するリスクは低減する。

大学では、ガラス器具による切り傷も多いが、注射針による刺し傷も多い。附属病院などの医療関係者や、シリンジなどを使用する実験者は注意を要する。

ガラスは割れると鋭利なものになる。鋭利なものによる事故は、意外と多い。